

第30回講演会特別企画

成田空港開港40周年&国内20都市就航 記念シンポジウム

9月21日、第30回講演会特別企画として成田国際空港(株)と振興協会の共催による「成田空港開港40周年&国内20都市就航 記念シンポジウム」を開催しました。当日は空港関連企業、周辺市町の方々など380名の聴講者で会場が埋まりました。

第1部は、NAA濱田常務取締役、成田空港に乗り入れるLCC3社（ジェットスター・ジャパン(株)、バニラ・エア(株)、春秋航空日本(株)）のトップ、就航先自治体（大分県、佐賀県、鹿児島県奄美市）の関係者が「成田空港とLCC国内線ネットワーク」と題してプレゼンテーションを行いました。濱田常務取締役からは、第3ターミナルビルの増築計画について、2019年度までに到着ロビーを増築して容量を900万人、2021年度までに現在の第5貨物ビルを撤去して増築することで1,500万人にまで拡大するほか、第3旅客ターミナルビルにおけるアクセス改善、夜間飛行制限の緩和、インセンティブ制度などについて説明がありました。

第2部では、NAA長田副社長をモデレーターに、パネラーには第1部のプレゼンターに成田市小幡副市長を加え「成田空港とLCCの将来」と題したパネルディスカッションを行いました。講演会で初めて用いた聴講者のスマートフォンにより気軽に質問や投票などができるアプリ「Sli.do（スライドウ）」を使い、聴講者からの質問に回答するなど活発な議論が行われました。

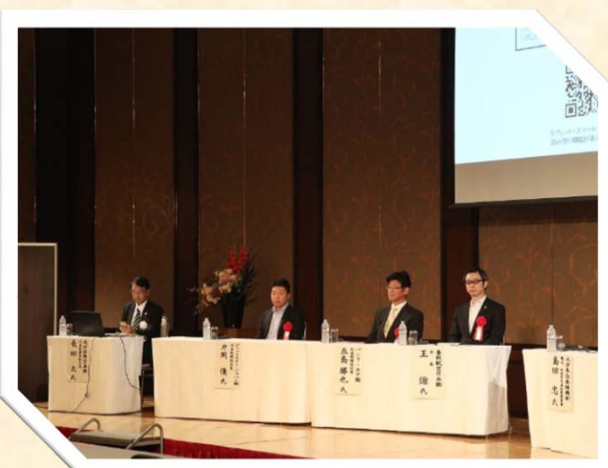
LCCの成長とともに成田空港の国内線ネットワークは急成長しており、更に就航先の自治体への経済効果が大きいことから、LCCがもたらした効果は大きなものであると改めて認識いたしました。



深谷会長 挨拶



第1部 濱田常務取締役 プレゼンテーションの様子



第2部 パネルディスカッションの様子



Sli.doによる質疑応答

